

優秀賞

## 続く挑戦

慶進高等学校 1年 橋本 果保

今、私には研究者になるという夢がある。世界の医療を発展させた  
いのだ。そのために、応募から移動まで全て自分で計画を立て、高校  
生対象の研究プログラムにも参加している。

このように活動的な私だが、元は内気な子供で、人前で発言するこ  
とすら苦手だった。実は今の私の姿勢は、まだ幼い頃の出来事に起因  
する、とある失敗が生んだものなのだ。

私は近所の子から、いじめにあっていたのだ。その子と距離を置けば  
いいのに、ふとした時に家の外から聞こえてくる楽しい声に、幼い私  
は家から飛び出し、遊んでしまっていた。そのたびに、泣いて帰って  
くる。この頃から母は「我が子をどこにも行かせたくない、これ以上傷付  
けたくない」と思った。さらに私は病気がちで入院を繰り返しており、  
母には多くの心配をかけてきた。これもあり母は私が挑戦することに  
何かと反対してきた。しかしこれは確かに愛情によるものだった。

対して私は、母に「かつての病弱でモジモジしていた自分とは違う」  
ことを示すためにも、自分の心を駆り立てるようにしてあらゆること  
に挑戦した。そのために一人で県外へ行くこともあった。私を守りたい  
母と、強くなった姿をみせるためにも行動を起こし続ける私。互いの  
ことを想っているにもかかわらず、二人の間には溝ができてしまった。

そんなある日私たちはついに口論になり、私は涙を流しつつ胸の内  
に秘めてきたことを打ち明けた。母も同様にして語り、ここでやっと  
互いを分かり合えた。失敗は、今まできちんと話す機会を持たなかつ  
たことだと悟った。

今は自分を強く見せるために行動する必要はなくなったが、私は今  
後もこの姿勢でいる。なぜならこの旅の中で、大切な友達や経験など  
の宝物を手に入れたからだ。この失敗も無駄ではなかったのだ。

そして私は新しい旅の一步目を、母からの応援に裏打ちされた強固  
な自信と、夢への確心を胸に抱き、今しっかりと踏みしめた。